

青丘文庫 月報 No.110

1996年9月10日発行

＜発行人＞ 〒654 神戸市須磨区須磨寺町4-3-1 メゾン・ド・青丘内 青丘文庫
韓 哲 曦 TEL/FAX 078-735-0220
＜編集人＞ 〒657 神戸市灘区山田町3-1-1 (財)神戸学生青年センター内
飛田 雄一 TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878



◆ 猛暑といわれた今年の夏も終わり、さわやかな季節になってまいりました。

昨年1月17日の阪神淡路大震災にのために、青丘文庫も図書が散乱し、研究会も中断を余儀なくされました。しかし、徐々に機能を回復し、朝鮮民族運動史研究会および在日朝鮮人史研究会関西支部の例会も月一回のペースで開かれています。(日韓キリスト教史研究会は休会中です。)

◆ 青丘文庫の将来について、これまでさまざまな論議がなされてきましたが、この度、韓先生が蔵書を神戸市に寄付され、次頁の新聞記事にありますように神戸市立中央図書館(大倉山)に移管されることになりました。韓先生が個人的に収集されてきた膨大な資料が公立の図書館に散逸することなく移管され、更に広く利用されるようになりました。中央図書館に特別室が設けられ、開架式の「青丘文庫」となります。

◆ 青丘文庫から中央図書館には、八月より図書のひっこしが始まりました。来年5月には中央図書館の青丘文庫がオープンし、研究会も中央図書館の研究室をお借りして開かれることになります。その間、研究会は学生センターで開かれます。

◆ 青丘文庫の「本部」は引き続き神戸市須磨区のメゾン・ド・青丘内の韓先生のご自宅におかれます(電話、FAXの番号が変更しましたのでご注意下さい)。「月報」の発行および研究会の会場が神戸学生青年センターになります。

◆ 7月14日の青丘文庫での研究会で「年会費」等について次のように決めましたので、よろしくお願いします。支払い方法は、研究会で払う(会計担当/堀内稔)、または郵便振替<01150-4-43074 飛田雄一>で送金です。

- ① 月報のみの購読者は、1年分 3000円(年間11号発行)
- ② 研究会メンバーは、①に加えて1年分 3000円(センターの部屋代等)
- ③ 研究会のゲスト参加者、1回 500円
- ④ 在日朝鮮人史研究のメンバーは、①②に加えて『在日朝鮮人史研究』発行のために年額4000円を払い、雑誌3冊を受け取ります。

◆ 今後ともよろしくお願いします。(ニュース編集人/飛田雄一)

「青丘文庫」

「靑丘文庫」は、同区内（北朝鮮などからも収集）でゲミカルシユーズ会社を経営していた朝鮮史研究家韓哲燾（ハン・ソッキ）さん宅が、一九六九年に工場内に設立。古代から現代に至る朝鮮半島の歴史や日朝キリスト教史の研究で、資料を求めて全国を訪ね歩

十年前には、所有のマンシヨン二階に文庫を移した。約三万五千冊の蔵書は、政治、社会経済、思想、民族運動、在日朝鮮人の五ノナーに分類。李氏朝鮮建国以来の事跡を収録した「李朝実録」や「承政院日

はほとんど手に入らない資料が一堂にそろい、研究者もよく利用していた。しかし、文庫を一人で切り盛りしてきた韓さんも高齢のため文庫を維持・運営するのが難しくなり、数年前から寄贈先を探していた。

いたのがきつかけだった。設立当初は数千冊程度だったが、朝鮮史に詳しい大文学士譚からアドバイスを受けて、私費を投じて韓国、朝鮮民主主義人民共和国「漢城旬報」など、日本で記などの基本資料のほか、一昨年秋、中央図書館と日本植民地時代の貴重な資料集である「大韓帝國官報」の間で奇贈の話がまとまったが、震災で延期。同文庫や、日韓併合前、朝鮮半島も文獻が散乱するなど被害で最初に発行された新聞を受け、約三月月間休館し、ようやく来年春に同図

書館のコレクションの目玉として設置される方向で決まった。

「李朝実録」など一級資料

隣国理解 深めて

神戸の在野研究家
市立中央図書館に



寄贈する蔵書を前に「日本と韓国・朝鮮の相互理解につなげてほしい」と話す韓さん＝神戸市須磨区須磨寺の青丘文庫

同文庫の設立当初から協力してきた花岡大学の姜在彦(カン・ジェウン)教授(六九)朝鮮思想史Ⅱは「青丘文庫は、朝鮮史研究の基本資料を集めているところ、指してほしいと期待する。話している。

76歳で博士論文に挑戦

今の韓国では国民的詩人だが、尹東柱の詩碑が同志社にあるの知ってますか。僕は、そういうのが同志社の一番いいところだと思う。彼は42年に入学、僕と同期で、校舎もすぐ向い側。でも、翌年には独立運動容疑で逮捕され、そのまま獄死するんで、大学にいたのは正味7ヶ月です。他に人材がいっぱい出てるのに、そんな人はいないって、彼みたいな人の碑を建ててくれる。そんな大学どこにもない。

僕なんか、同志社を出てもう50年、なんで76歳にもなって博士論文書かなあかんのよ。皆におだてられてね(笑)、大学で博士課程取らんでも、在野で一所懸命勉強する人の範を示してくれと、同志社の教授やら皆の勧めで。今、迫り込みで、肩は凝るわ、眼はかすむわで大変。でも、学問研究で、後で振り返ってみると、そんなときが一番幸せやねえ。これも僕の研究の集大成、一つの区切りや思ってます。

朝鮮史研究30年の結晶「青丘文庫」

僕の研究というのが、朝鮮関係を中心に日本のキリスト教の国外伝道史。侵略の尖兵となつたという研究は多くなされてる。もちろんそれはまず語らねばならないけれど、キリスト者として現地住民と苦楽を共にし、彼らと一緒に生き死にしようとした人もいたんじゃないかと、研究を始めた。実際いたんですよ。そういう研究あまりやられてない。それを韓国人の僕がやるというもおかしな話だけど、やる人いないからしょうがない。

研究進めて困つたのが、朝鮮史関係の資料とまったがない。あつちの大学、こつちの図書館……

一九四六年 文学部神学科(現神学部)卒業

「青丘文庫」館長

韓 哲曦さん

くだびはてた、年とってるし。それで自分で集め始めたのが、この青丘文庫なんです。69年からだから27年になる。もう3万5千冊以上あります。これもね、神戸市の中央図書館に寄贈することにしました。僕も年とっていくし、個人運営には限りがある。利用する人もそのほうが便利だしね。

あとは街の復興と在日70年史

青丘文庫も区切りがつく。で、今ものすごく気に掛けて、絶対しなきゃと思ってるのが、街と会社の復興。今度の地震で会社(資工場)が焼けてしまつて、長田区のすぐ近くんだけど、その街づくり協議会の会長させられましてね。地域の人などと一緒に、なって悪戦苦闘してます。だから、会社も今度は工場ではなしに、不足してる市民の住宅を建てようと思つて、'96年の夏までには始める。それと、僕が喜寿

博士論文執筆も人生の一区切り。
喜寿だからって、まだまだ忙しい。

です。在日70年になるんです。70年史を書かなあかん。

ただね、僕が書くとしたら、やはり歴史家のはしれですから、ただこんな苦労、あんな苦労しただけではもの足りない。僕が生きた時代の日本、朝鮮の状況、そして在日朝鮮人がどんな社会的状況に置かれていて、その中で自分がどう生きてきたか、そんな形で書けたら、一応個人の視点から在日朝鮮人全体の社会史ができるんじゃないか。そういうものを書こうと思つて、まだまだ忙しいでえ(笑)。

はん、そっけい、'19年朝鮮済州島生まれ。'56年東大と共に入大に。高専小学校卒業後進学で専修学校。'59年同志社大学入学。経済情報と学生出版でとれたながらも46年専攻、46代中野を退任、神戸でケミカルシステム製造会社を経営する傍ら、同志社大学大学院にも通い、経済、以隣、日朝関係の歴史的研究と、その拠点として私財を投じて青丘文庫の完成に専心する。日本書院主編下の朝鮮伝説(全書、日本書院出版局)、「日本の朝鮮文壇と家伝集」(朱永世等寄書、試行多載)。



青丘文庫では定期刊行の文庫も数多く出版し、研究資料も豊富に出して来た。在日70年史、朝鮮関係(おかしな人)も読んでの読書家。(おかしな人)

教育あり、知識あり、品行ある自治自立の人を——

同志社大学

〒602 京都市上京区今出川通烏丸東入 広報課 TEL(075)251-3120 FAX(075)251-3080

この広告に関するご意見、ご感想をお寄せください。次回は2月26日発売号に掲載の予定です。

研究会関連雑誌販売のご案内

在日朝鮮人史研究 No. 4	1000円	在日朝鮮人史研究 No.23	1300円
在日朝鮮人史研究 No. 5	1000円	在日朝鮮人史研究 No.24	1300円
在日朝鮮人史研究 No. 6	1000円	在日朝鮮人史研究 No.25	1500円
在日朝鮮人史研究 No. 7	1000円	朝鮮史叢 No. 1<復刻版>	2500円
在日朝鮮人史研究 No. 8	1000円	朝鮮史叢 No. 2	1500円
在日朝鮮人史研究 No. 9	1000円	朝鮮史叢 No. 3	1500円
在日朝鮮人史研究 No.11	1000円	朝鮮史 No. 4	1500円
在日朝鮮人史研究 No.12	1000円	朝鮮史叢 No. 5,6合併号	3000円
在日朝鮮人史研究 No.13	1000円	朝鮮民族運動史研究 No. 2	2000円
在日朝鮮人史研究 No.14	1000円	朝鮮民族運動史研究 No. 3	2500円
在日朝鮮人史研究 No.15	1000円	朝鮮民族運動史研究 No. 4	2000円
在日朝鮮人史研究 No.17	1300円	朝鮮民族運動史研究 No. 6	2200円
在日朝鮮人史研究 No.19	1300円	朝鮮民族運動史研究 No. 7	2266円
在日朝鮮人史研究 No.20	1500円	朝鮮民族運動史研究 No. 8	2266円
在日朝鮮人史研究 No.22	1300円	朝鮮民族運動史研究 No. 9	2266円

※在庫分です。送料は冊数に関係なく310円。ご注文は、学生センター飛田まで。

研究会のご案内

第154回 朝鮮民族運動史研究会

1996年9月15日(日)午後1時30分

報告者 浅井 良純 氏

テーマ 「植民地初期における朝鮮人警官の
形成について」

第184回 在日朝鮮人史研究関西部会

1996年9月15日(日)午後3時30分

報告者 横山 篤夫 氏

テーマ 「協和会に関する若干の史料について
ー特に協和会から興生会への移行に関連してー」



- 阪急六甲より徒歩2分
- JR六甲道より徒歩10分
- 新幹線新神戸よりタクシー15分

会場は、いずれも神戸学生青年センター（地図参照）

（阪急六甲下車、北東徒歩2分、Tel (078)851-2760）